

## 編集後記

今回のテーマ「歴史的遺産・建造物の修復、復元」について原稿集めで頭を痛めている時、衝撃的なニュースが飛び込んで来ました。韓国の「南大門」(崇礼門)の焼失のニュースです。南大門(崇礼門)は、1398年に完成、1479年頃に大きく改修された他は1962年朝鮮戦争後に修復されただけで、約600年の歴史を持つ韓国国宝第1号だそうです。テレビやネットに流れる焼失後の様子は、あまりに悲惨で韓国の方々の落胆はいかほどかと思われます。原因が放火という点も無念としか言いようがないでしょう。日本にも、1400年の歴史を誇る法隆寺をはじめ、日本人の自尊心とも言える多数の歴史的建造物が存在します。これらを犯罪や自然災害から完全に守る事は容易ではないでしょう。

日本には法隆寺の金堂や金閣寺の再建例があります。おかげで木造文化財再建技術は世界一のレベルになったと言われているそうです。今回の出来事によって、歴史的建造物の保存修復技術の重要度、注目度は、さらに大きく増すのではないのでしょうか。さらに、既存建造物の詳細な情報の保存、再生再建技術という点

にも注目度が増すでしょう。

先日、「最後の晩餐」や「風神雷神図屏風」等の超高精細なデジタル画像情報化と複製技術についてのニュースを見ました。同様な対応が建造物に対しても要求される時代になって行くのかなと思います。

ただ、南大門焼失は韓国の方々に文化財に対する色々な考えを沸き起こしているようで、保存と再建について大きな議論になっているようです。どのような結論になるのか興味深いです。諸行無常、終わりがあから始まる、なんて、どちらかというと日本人好みの感じ方ですね。

なんだか大きな話になりましたが、今回のテーマ、偶然ですがタイムリーだったのかなと思っています。

今回初めて編集担当をさせていただき、いつもと少し違う分野の方々のコミュニケーションは、久しぶりに新鮮な体験でした。中でも、ある執筆者の方にご依頼の電話をしたときに「研究をなりわいに行っている者の社会的責務の一つとして受けますよ」とのお言葉には感銘を受けました。

最後になりますが、お忙しい中ご執筆をいただいた皆様には深く感謝申し上げます。

(岩本・京免)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

|       |       |
|-------|-------|
| 浅井新一郎 | 石川 正夫 |
| 今岡 亮司 | 上東 公民 |
| 岡崎 治義 | 加納研之助 |
| 桑垣 悦夫 | 後藤 勇  |
| 佐野 正道 | 新開 節治 |
| 関 克己  | 高田 邦彦 |
| 田中 康之 | 田中 康順 |
| 塚原 重美 | 寺島 旭  |
| 中岡 智信 | 中島 英輔 |
| 橋元 和男 | 本田 宜史 |
| 渡邊 和夫 |       |

### 編集委員長

中野 正則 国土交通省

### 編集委員

|       |                |
|-------|----------------|
| 廣松 新  | 国土交通省          |
| 浜口 信彦 | 国土交通省          |
| 米田 隆一 | 農林水産省          |
| 小沼 健一 | (独)鉄道・運輸機構     |
| 早川 正昭 | 株高速道路総合技術研究所   |
| 伊藤 崇法 | 首都高速道路株        |
| 高津 知司 | 本州四国連絡高速道路株    |
| 平子 啓二 | (独)水資源機構       |
| 松本 敏雄 | 鹿島建設株          |
| 和田 一知 | 川崎重工業株         |
| 岩本雄二郎 | 株熊谷組           |
| 嶋津日出光 | コベルコ建機株        |
| 金津 守  | コマツ            |
| 藤永友三郎 | 清水建設株          |
| 村上 誠  | 新キャピラー三菱株      |
| 宮崎 貴志 | 株竹中工務店         |
| 泉 信也  | 東亜建設工業株        |
| 中山 努  | 西松建設株          |
| 斉藤 徹  | 株NIPPOコーポレーション |
| 三柳 直毅 | 日立建機株          |
| 岡本 直樹 | 山崎建設株          |
| 中村 優一 | 株奥村組           |
| 石倉 武久 | 住友建機製造株        |
| 京免 継彦 | 佐藤工業株          |
| 久留島匡繕 | 五洋建設株          |
| 吉越 一郎 | 株間組            |
| 藤田 一宏 | 施工技術総合研究所      |

### 6月号「700号記念・海外における建設施工特集」予告

- ・建設分野における国際協力
- ・国土交通分野におけるクリーン開発メカニズム(CDM)プロジェクトの現状と将来
- ・海外建設活動の現況—平成18年度(2006年度)海外建設受注から
- ・台湾高雄地下鉄CR4工区建設工事 大都市中心部に内径140mの円形連続壁構築
- ・シンガポール下水道プロジェクトへの取組み —延長7.7kmの長距離シールド—
- ・ラオス ナムツン2水力発電工事
- ・トルコボスボラス海峡横断鉄道トンネルの施工 沈埋トンネル部基礎地盤水中均しロボット
- ・第2フレンドシップ橋の計画と施工 タイとラオス国境のメコン河に架かる全長2,050mの国際橋
- ・世界の長大橋の建設概況
- ・サハリン2 LNG積出栈橋の建設
- ・台湾初の大容量(16万KL)PCLNGタンクの施工

## No.699「建設の施工企画」 2008年5月号

[定価] 1部840円(本体800円)  
年間購読料9,000円

平成20年5月20日印刷

平成20年5月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 小野 和日見

印刷所 日本印刷株式会社

## 発行所 社団法人 日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; Fax (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

|           |                            |                   |
|-----------|----------------------------|-------------------|
| 施工技術総合研究所 | 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154    | 電話 (0545) 35-0212 |
| 北海道支      | 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8    | 電話 (011) 231-4428 |
| 東北支       | 〒980-0802 仙台市青葉区二日町16-1    | 電話 (022) 222-3915 |
| 北陸支       | 〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1     | 電話 (025) 280-0128 |
| 中部支       | 〒460-0008 名古屋市中区栄4-3-26    | 電話 (052) 241-2394 |
| 関西支       | 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4    | 電話 (06) 6941-8845 |
| 中国支       | 〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22    | 電話 (082) 221-6841 |
| 四国支       | 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22    | 電話 (087) 821-8074 |
| 九州支       | 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-8-26 | 電話 (092) 436-3322 |